

今月の星空



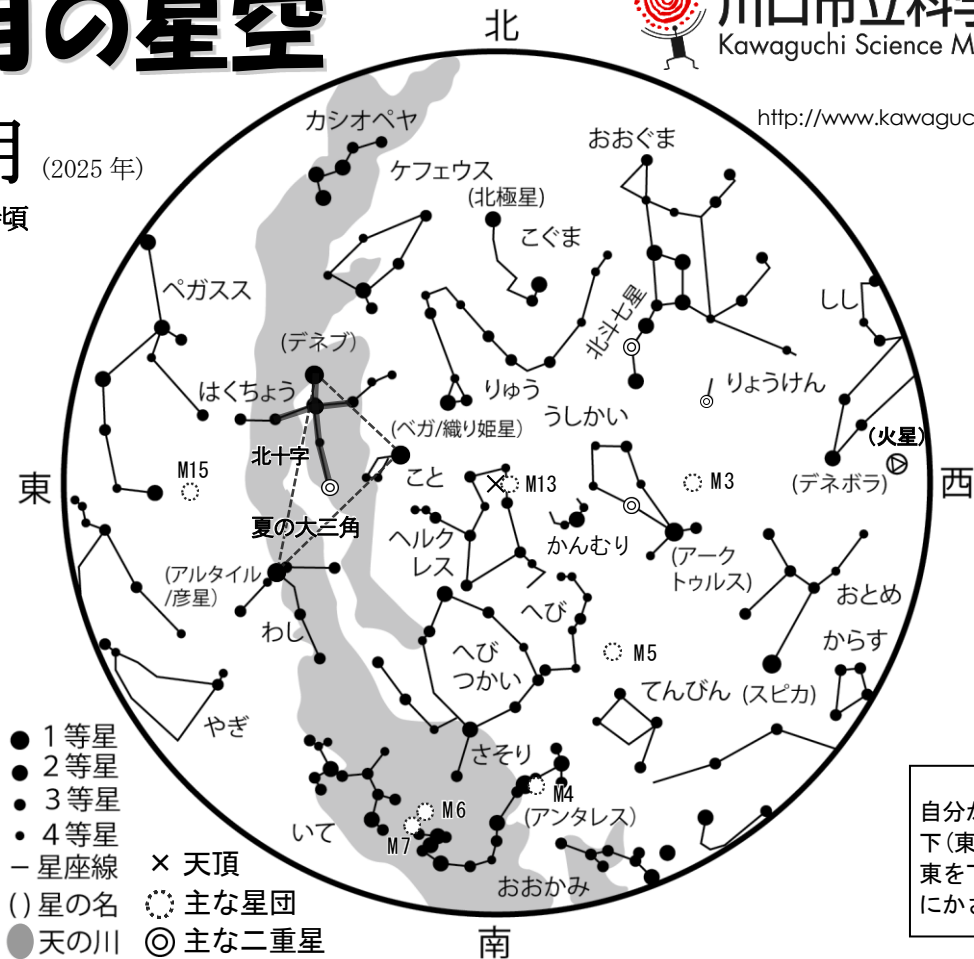
川口市立科学館
Kawaguchi Science Museum



tel 048(262)8431

http://www.kawaguchi.science.museum/

7月 (2025年)
中旬 21 時頃



星図の見方
自分が見ている方向を下(東の空を見るときは東を下)にして、頭の上にかざして見ます。

月 齢 ●上弦 3 日、○満月 11 日、◐下弦 18 日、●新月 25 日

惑星情報

水星 日の入り後 北西(かに座 0→1 等)※7日まで
金星 日の出前 東(おうし→オリオン座 -4 等)
火星 夜のはじめ頃 西(しし→おとめ座 2 等)
木星 日の出前 東(ふたご座 -2 等)※下旬以降
土星 真夜中 東(うお座 1 等)

★星座探しは夏の三角形から～見つけやすい星座はどれ?～

夏の星座の中には、1 等星以上の星が 4 つあります。そのうちの 3 つは「夏の三角形」をつくる、こと座の「ベガ」、わし座の「アルタイル」、はくちょう座の「デネブ」。残る 1 つは、さそり座の「アンタレス」です。これらの明るい星を目印にして、色々な夏の星座をたどりましょう。そこで、星座の見つけやすさの目安として、右の表に、主な夏の星座の明るい星の数を示しました。まず、南の空で比べると、2～3 等の星が多いさそり座は、星の並びも特徴的な S 字の形であり、最も見つけやすいと言えます(星図参照)。ただし、低い位置にあるため、南側が開けた場所で観察しましょう。また、東の空では、はくちょう座がおすすめです。1～3 等の明るい星だけで、目印となる十字の形(「北十字」と呼ばれる)を見つけることができます。

表 主な夏の星座の等級別の星数

主な星座	0～1等	2等	3等
さそり	1	5	9
へびつかい	0	2	6
ヘルクレス	0	0	6
いて	0	2	8
こと	1	0	1
わし	1	0	5
はくちょう	1	2	3

★夏休みは「織り姫星・彦星・天の川」の 3 点セットにチャレンジ!

7 日は七夕。七夕物語に登場する「織り姫星」は、こと座のベガ、「彦星」は、わし座のアルタイルです。これらは市街地の明るい空でも見つけられますが、物語の舞台である「天の川」となると、その輝きは非常に淡いため、空の暗い場所で見ることがあります。そこで、この夏、天の川を見るためのポイントを挙げてみました。特別な道具も必要ありません。夏休みのお出掛けの参考にしてみてください。

【空の暗い場所】市街地よりも星が多く見えるような視界が開けた安全な場所(夜間利用可の公園等)

【月明かりの影響が小さい日】例(目安)…月の出が夜中となる下弦(7/18)～新月(7/25)～月が細く月の入りが早い月齢 5～6(7/30)頃まで。同様に 8 月は、下弦(8/16)～新月(8/23)～月齢 5～6(8/29)頃まで。

【天の川の位置を事前に知る*】天の川は、さそり座・いて座(南)ー夏の三角形(織り姫星と彦星の間)ーカシオペア座(北)を通ります。特に天の川が明るく見えるさそり座から夏の三角形辺りがおすすめ。

※事前にプラネタリウムで天の川の見え方や星座の位置などを確認しておくとい良いでしょう。